



1月15日(水)新春三味線コンサート



「待ってました！」と声こそ掛かりませんでしたが、この数年恒例となつて、みんなが楽しみにしている「新春三味線コンサート」です。演奏者はグループホームの林和秀スタッフ。いつもは作務衣ズボンにセーターで飄々と週に一度の夜勤ケアを行う彼が、今日は黒紋付で、ぐっと男振りが上がっています。目を輝かせる入居者さんもいれば、「泊り当番のおにいさん」だとは気づかない方もいました。

「勸進帳」「船弁慶」「娘道成寺」と曲の説明もわかりやすく、長唄の名曲の聴かせどころをダイジェストで演奏してくれました。合間には「瀬戸の花嫁」や「芸者ワルツ」などの歌謡曲を、三味線の伴奏で合唱。そして、坂東玉三郎の舞踊で有名な「鷺娘」。悲しい恋の物語であるとの説明のあと、「妄執の雲晴れやらぬ朧夜の、恋に迷いしわが心」しづい歌声に会場のみなさんもうっとり。アンコールは「ふるさと」の大集合で幕。海老沢スタッフの「こいつは春から縁起がええわい」でめでたくおひらきと相成りました。

(グループホームえん/井上暁子)